

常陸太田特別支援学校との交流事業（ブドウ収穫）

9/27（火）、市内瑞龍町にある常陸太田特別支援学校との交流事業として、本校希望生の約 20 名と同校高等科 2 学年の生徒約 20 名が、同校敷地内にある農園「あした」で、ブドウの収穫作業を協働して行いました。

事前にリモートでお互いの学校や事業の概要を学習した上で当日、支援学校にお邪魔しました。最初はお互いに緊張気味でしたが、班ごとに分かれて自己紹介をしあい、ほどよい秋晴の晴天下、汗を流してブドウの摘み取り作業をしているうちに緊張感は次第にほぐれ、いつの間にかお互いに声を掛け合う中で重い荷物を一緒に運んだり、紙袋の除去作業を行う中で膨大な作業の完了を目指すようになり、無事終わることが出来ました。

摘み取られたブドウはジュースやワインに加工されるのですが、一番の収穫は協働作業を通して相互理解が進み、少なからぬ友人関係が芽生えた事だと思います。

帰校時にはお互いに別れを惜しみ、帰校後にはほぼすべての生徒が充実感と楽しかった思い出とで笑顔に溢れていました。

このような事業を企画していただいた特別支援学校を始め、地域振興のため快く農地を提供してくださった地元ブドウ農家さんなど、多くの方々の支えに感謝するばかりです。コロナが収まり、来年度以降もこのような事業が継続されることを望みます。



事前のリモート学習



作業開始前の自己紹介



協働して摘み取り作業



収穫作業後の充実感